

令和 8 年度 香川短期大学  
指定校選抜Ⅲ前期（特待生入試）  
奨学金判定試験

『現代の国語』『言語文化』問題用紙問題用紙

令和 7 年 1 1 月 1 5 日

注 意

1. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は  から  まで、15 ページあります。
3. 解答用紙、問題用紙ともに受験番号を記入しなさい。
4. 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

受験番号	
------	--

一

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います

(佐藤卓己『流言のメディア史』による)

- 註1 デフォルト標準。 2 ビッグデータSNSなど通じて収集された、巨大なデータ集合のこと。
- 3 ゲートキーパー情報の発信・流通をコントロールする者やそのような機関。
  - 4 アルゴリズムプログラムを作る際に用いる、問題解決のための手順や規則のこと。
  - 5 フェイクニュース虚偽やねつ造による報道、情報。

問一 二重傍線部㊦から㊧のカタカナに該当する漢字の部首と総画数を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。同じ記号を二度以上選んでもよい。なお、字体はいづれも常用漢字とする。

- ㊦ 出コウ      ㊩ 規ハン      ㊭ 情チヨ      ㊯ サク除

ア	まだれ	イ	がんだれ	ウ	りつとう	エ	たけかんむり	オ	きへん	カ	のぎへん	キ	さんずい
ク	いとへん	ケ	ごんべん	コ	てへん	サ	けものへん	シ	にすい	ス	くさかんむり		
a	9画	b	10画	c	11画	d	12画	e	13画	f	14画	g	15画

問二 空欄(A)から(D)を補うのに最も適切な語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 合理    イ 感情    ウ 理性    エ 根源    オ 主観    カ 客観    キ 消費    ク 需要    ケ 供給  
 コ 市民    サ 都会    シ 日常    ス 否定    セ 暫定    ソ 試行

問三 空欄(E)から(K)には「人間」、「AI」のいずれかが入る。その組み合わせと最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア	E	人間	F	AI	G	AI	H	人間	I	人間	J	AI	K	人間
イ	E	人間	F	AI	G	人間	H	AI	I	AI	J	AI	K	人間
ウ	E	AI	F	人間	G	人間	H	AI	I	AI	J	AI	K	人間
エ	E	AI	F	人間	G	人間	H	AI	I	人間	J	人間	K	AI
オ	E	AI	F	人間	G	AI	H	AI	I	AI	J	AI	K	人間

問四 傍線部①「家族の中の事情通(オピニオン・リーダー)の同伴なく、誰もが一人でビッグデータと向き合っているわけである」とあるが、こうした状況にある現代をどのような時代だと述べているか。本文の後半部から三十五字以内で抜き出しなさい。ただし、句読点も字数に含む。

問五 傍線部②「快適な情報環境」とあるが、どのような点で快適なのか。その理由を説明した、次の文の空欄を補うのに適当な語句を文中から抜き出して記しなさい。なお、各空欄の算用数字はその文字数を示している。

・ I 2字

が

II 5字

をすることで、

III 2字

は

IV 17字

から。

問六 傍線部③「客観性と正確性を追求するAIの世界において、私たち人間の最後の抛り所が「あいまいさ」なのではなからうか」とあるが、筆者がそのように主張する理由を、以下のようにまとめた。空欄を補うのに適当な語句を文中から抜き出して補いなさい。なお、各空欄の算用数字はその文字数を示している。

・ AIが制御する情報空間でも、メディア流言は発生、流通するだろう。

←  
・ メディア流言はその分析を通じて ( A 10字 ) くれる貴重な情報である。

←  
・ 本来、人間は不確実な情報環境の中で、 ( B 7字 ) ることで新しい情報環境に適応する力を鍛えてきた。

←  
・ AIの利用によって大きく変化している現代こそ、人間は ( C 11字 ) を高めなければならない。

問七 本文の主張に合致しているものを、次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア AIの積極的な活用によってフェイクニュースなど流言を駆逐して健全な情報社会を構築することが求められる。

イ 歴史を振り返れば、誤情報を排除すべきだという正論が、社会の多様性を抑圧する権力の口実として利用されたことがしばしばあった。

ウ いくらAIが発達しても、AIには限界があるので、期せずして人間の能力が必要とされる時が必ずやって来るはずだ。

エ AIの利用によって人間はより優れた存在になることができるはずであり、そのためにもアルゴリズムを開発することが求められる。

オ AIの発達した現代においてこそ、新聞、雑誌、ラジオ、テレビなどのマスメディアのゲートキーパー機能をより強化する方策を摸索すべきである。

カ 流言などは社会の感情や欲望を理解するための情報であり、これを注視する必要があるため、世論調査は今まで以上に有効に活用すべきである。

キ AI時代になって、集積されたビッグデータを効率よく活用する方法を考えることが、SNSだけでなく、既存のメディア・企業・個人などにも重要な課題となっている。

ク メディア流言という情報伝達のやり方はAI技術の発展によって、その真偽を客観的に判断することができ、駆逐できるため、もはや時代遅れのものになった。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、設問の都合で一部に改変がある。

(小説家である百合枝は、娘の千枝と久しぶりに連れだつて買い物に出かけた。以下の文章はそれに続くものである。)

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

\*註1 節：千枝の夫。

- 2 東急の本店：東京・渋谷にあった東急百貨店。
- 3 アンサンブル：組み合わせることを意図して作られた衣服、またそのようなデザイン。
- 4 アメリカで育てた：百合枝はかつてアメリカで暮らしていた時期があり、千枝はそこで生まれ育った。

(大庭みな子『啼く鳥の』による)

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

問一 傍線部①「ぶつぶつ」について説明した修辞法として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 隠喩法    イ 直喩法    ウ 擬人法    エ 擬態法    オ 反復法

問二 傍線部②「こうした母の物言いに、千枝は母の気の弱さを感じた」とあるが、こうした物言いに含まれない心情を次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 家が没落したことを惨めに思う心情  
イ 過去の自分を弁護する心情  
ウ 娘に負い目を感じる心情  
エ 娘に言い訳するような心情  
オ 自己本位な娘の態度を責める心情

問三 空欄（ a ）を補うのに最も適当な語を漢字二字で答えなさい。

（本文中にはない。前後の文脈から考えなさい。）

問四 傍線部③「挑戦的なものを感じた」について、百合枝を感じた娘の「挑戦」の内容を具体的に述べた記述を含む一文を抜き出して、その始めの五字を答えなさい。ただし、句読点は含まない。

問五 空欄（ b ） 、 （ c ） を補う最適な語の組み合わせを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |   |       |   |     |
|---|---|-------|---|-----|
| ア | b | 謙虚さ   | c | 強情さ |
| イ | b | いじらしさ | c | 傲慢さ |
| ウ | b | 慎み深さ  | c | 頑固さ |
| エ | b | あきらめ  | c | 無気力 |
| オ | b | 我慢強さ  | c | 虚無感 |

問六 傍線部④「そういうことは生きていく中で学ぶ以外にはあるまいと百合枝は思った」とあるが、その理由を文中の語句等を使って説明しなさい。

問七 傍線部⑤「想像力の無さ」とは、（Ⅰ）誰のことを言っているのか、本文中から抜き出して答えなさい。

また、（Ⅱ）それは、どのような振る舞いに現れているか、具体的に述べた最適な箇所を含む一文を選び、その始めの五字を答えなさい。ただし、句読点は字数に含まない。

問八 傍線部⑥「子供のことしか念頭にない盲目的な母親を夢想した」とあるが、それは、どのような母親か。文中の語句等を用いて簡潔に説明しなさい。

問九 本文の内容に合致しないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 千枝は夫の代わりに葬儀に参列するべきかどうかを迷っている。
- イ 百合枝と千枝が二人で出かけると、買い物についての意見が食い違うことが度々あった。
- ウ 早くから自立心を持っていた千枝は母にものをねだることがほとんどなかった。
- エ 百合枝は千枝の傲慢な態度に若いころの自分を重ねて見ている。
- オ 百合枝は千枝の高慢さは育った環境によるものだから仕方ないと諦めている。

三

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。なお、設問の都合で一部改変がある。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

問一 傍線部①から④について、漢字はその読み方を記し、カタカナは漢字に改めなさい。楷書で丁寧に書くこと。

- ① カンペキ      ② ケシヨウ      ③ 潔(さ)      ④ スウコウ      ⑤ ザンコク      ⑥ シュシヤ

問二 空欄 1・2 を補うのに最も適当な語を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 検証      イ 確認      ウ 訂正      エ 添削      オ 味読      カ 推敲      キ 熟考

問三 空欄 3・4 を補うのに最も適当な語を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 形式      イ 題材      ウ 主題      エ 問題      オ 話題

問四 文中の慣用表現(Ⅰ)から(Ⅳ)について、それぞれの空欄を補うのに最も適切な語句を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 卑怯      イ 狡猾      ウ 姑息      エ 要領      オ 絶対  
カ 鍵      キ 思案      ク 結論      ケ 途方      コ 人情  
サ 毛頭      シ 路頭      ス 端緒      セ 技      ソ 成功

問五 文中の作品名『A』から『D』の作者を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 井伏鱒二      イ 太宰治      ウ 川端康成      エ 夏目漱石      オ 芥川龍之介  
カ 志賀直哉      キ 室生犀星      ク 森鷗外      ケ 有島武郎      コ 谷崎潤一郎